

V. 「ちいばす」新規5路線の収支率

「ちいばす」新規5路線の平成24年度の収支率及び平成25年度の想定収支率は以下のとおりです。

高輪ルートについては、収支率が前年度に比べて0.3%増加しています。しかし、その他のルートの収支率は、前年度に比べて減少しており、特に麻布ルートと青山ルートでは、約5%程度も減少しています。麻布ルートについては、ルートを分割したことにより、運行距離が伸び、車両台数や運転士人数が増えたことが要因であると考えられます。

【平成24年度】

●全体収支

1 収入

| | |
|---------|------------|
| ① 運賃収入 | 243,402 千円 |
| ② 広告料ほか | 8,156 千円 |
| 計 (A) | 251,558 千円 |

2 経費

| | |
|----------------------|------------|
| ① 運行経費 ^{※1} | 410,996 千円 |
| ② 一般管理費 | 13,312 千円 |
| 計 (B) | 424,308 千円 |

3 収支率

(A ÷ B) 59.3%

●路線別収支率

| | |
|----------|-------|
| ・芝ルート | 41.7% |
| ・麻布ルート | 40.1% |
| ・青山ルート | 71.4% |
| ・高輪ルート | 85.7% |
| ・芝浦港南ルート | 65.5% |

※1 運転士経費、燃料費、その他経費の合計

※2 対前年度比

【平成25年度(想定)】

●全体想定収支

1 想定収入

| | |
|---------|------------|
| ① 運賃収入 | 247,130 千円 |
| ② 広告料ほか | 11,697 千円 |
| 計 (A) | 258,827 千円 |

2 想定経費

| | |
|----------------------|------------|
| ① 運行経費 ^{※1} | 445,080 千円 |
| ② 一般管理費 | 15,157 千円 |
| 計 (B) | 460,237 千円 |

3 想定収支率

(A ÷ B) 56.2%(-3.2%)^{※2}

●路線別想定収支率

| | |
|----------|----------------------------|
| ・芝ルート | 41.5%(-0.2%) ^{※2} |
| ・麻布ルート | 34.6%(-5.5%) |
| ・青山ルート | 66.6%(-4.8%) |
| ・高輪ルート | 86.0%(+0.3%) |
| ・芝浦港南ルート | 65.4%(-0.1%) |

※平成 25 年度（平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで）の収入の算定は、平成 25 年 4 月から平成 26 年 2 月までの実績額を実績月数（11 カ月）で割った 1 月当たりの平均収入に、12 カ月を掛けた額を想定額としています。

※平成 25 年度（平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで）の経費の算定は、平成 25 年 4 月から平成 26 年 2 月までの実績額をもとに、年間経費を算定しています。なお、各ルートを経費の額については、経費の項目毎に運行距離、車両台数、運転士の人数等をもとに按分率を設定し算定しています。

表 4-1 平成 25 年度の経費を路線毎に按分するための要素

| | 芝ルート | 麻布ルート | 青山ルート | 高輪ルート | 芝浦港南ルート |
|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 一日当たりの 運行距離 | 433.5km (16%) | 664.0km (24%) | 437.2km (16%) | 519.8km (20%) | 625.1km (24%) |
| 車両台数 | 4 台 (17%) | 6 台 (22%) | 5 台 (22%) | 4 台 (17%) | 5 台 (22%) |
| 運転士人数 | 10 人 (19%) | 14 人 (27%) | 9 人 (17%) | 9 人 (17%) | 10 人 (19%) |

以上のように、平成 25 年度の想定収支率については、高輪ルートで 86%となっています。このことは、運行距離が比較的短く、車両台数も 4 台のため、経費が少ない反面、乗車人数が多いことが要因となっています。

一方、麻布ルートは約 35%にとどまっています。このことは、運行距離が長く、車両台数も 6 台と経費が多くかかる反面、それに見合うほど乗車人数が多くないことが要因となっており、本業務で検討した改善事項を、より詳細かつ実証的に検討していく必要があります。

新規 5 路線全体の収支率の平均では、平成 24 年度が 59.3%であったのに対し、平成 25 年度の想定収支率は 56.2%と減少していますが、本格運行の目標値である 50%以上を上回っており、継続的に事業を運営する収支率を確保できていると言えます。